

経済産業省 中部経済産業局  
平成28年度 グリーン貢献量認証制度等基盤整備事業



# J-クレジット制度 説明会資料



2016年7月27日

支援機関

三菱UFJリサーチ&コンサルティング 名古屋本部



# J-クレジット 計画書・報告書 無料支援

■ 以下の条件等を満たせば、支援機関が無料でJ-クレジット制度に必要な計画書の作成を支援します。計画登録やクレジット発行時に必要な第三者による審査の費用も国が負担してくれます

- ① 企業の場合、中小企業基本法にもとづく中小企業であること
- ② プロジェクトの年間CO<sub>2</sub>削減量が100トン以上であること
- ③ プロジェクト計画の作成支援: 1事業者、1方法論につき1度
- ④ モニタリング報告書作成支援: 1事業につき2年間で1度、60トン以上

((※1)今後変更可能性あり)

業種分類	中小企業基本法の定義
製造業その他	資本金の額又は出資の総額が3億円以下の会社又は常時使用する従業員の数が300人以下の会社及び個人
卸売業	資本金の額又は出資の総額が1億円以下の会社又は常時使用する従業員の数が100人以下の会社及び個人
小売業	資本金の額又は出資の総額が5千万円以下の会社又は常時使用する従業員の数が50人以下の会社及び個人
サービス業	資本金の額又は出資の総額が5千万円以下の会社又は常時使用する従業員の数が100人以下の会社及び個人

上記にあげた中小企業の定義は、中小企業政策における基本的な政策対象の範囲を定めた「原則」であり、法律や制度によって「中小企業」として扱われている範囲が異なることがあります。

出所: 中小企業庁HPより

## 平成27年度 中部管内 J-クレジット プロジェクト計画作成支援一覧

クレジット創出者 /所在地	方法論No.	方法論	予想削減量 CO <sub>2</sub> トン/年
井村屋株式会社 /三重県	EN-R-001	食品工場におけるバイオマス固形燃料(木質バイオマス)による化石燃料の代替	2,906
河田フェザー株式会社/三重県	EN-S-001	ボイラーの更新	65
株式会社ライクスタカギ/愛知県	EN-S-001	ボイラーの導入	127
株式会社靴のホッタ/愛知県	EN-S-006	照明設備の導入(1434本)	40
国立大学法人愛知教育大学/ 愛知県	EN-S-006 EN-R-002	照明設備の導入 太陽光発電設備の導入(10kW 7t)	31
国立大学法人岐阜大学/岐阜県	EN-S-006 EN-S-002	照明設備の導入 ヒートポンプの導入	898
国立大学法人三重大学/三重県	EN-R-002 EN-R-008 EN-S-007	太陽光発電設備の導入 風力発電設備の導入 コージェネレーションの導入	4,300
白鳥庭園管理事務所/愛知県	EN-S-005	インバーター制御の導入	30

## 平成27年度 中部管内 J-クレジット モニタリング報告作成支援一覧

クレジット創出者 /所在地	方法論No.	方法論	削減量CO <sub>2</sub> トン/年
株式会社伊賀の里モクモク手づくり ファーム	EN-R-001	バイオマス固形燃料(木 質バイオマス)による化石 燃料又は系統電力の代 替	38
福玉精穀倉庫株式会社	EN-S-006	照明設備の導入	175
垂井町商工会	EN-S-006	照明設備の導入	79

## 年間CO<sub>2</sub>削減量 100トンって？

導入設備、使用頻度や旧設備の効率によりますが、年間CO<sub>2</sub>削減量100トンの設備投資額の目安は3,000万円以上となります

### 太陽光発電設備(150kW程度)の導入

- 現在購入している系統電力200,000kWh程度を太陽光で発電する
- 現在の電気代の支払い額が年間 400万円程度（1kWh/20円と仮定）



プロジェクト実施前



プロジェクト実施後

### LEDなど高効率照明設備への更新で50%効率改善

- 現在の系統電力使用量が400,000kWh程度で電気代の支払い額が年間 800万円程度
- 目安として4,000本以上の照明器具を交換



プロジェクト実施前



プロジェクト実施後

## 食品工場における木質バイオマスボイラー導入

## 井村屋株式会社（本社工場）

## 井村屋株式会社

所在地： 三重県津市高茶屋七丁目1番1号  
 代表者： 代表取締役社長 前山 健  
 資本金： 100百万円  
 従業員数： 506名（平成27年3月31日現在）  
 URL： <http://www.imuraya.co.jp/>

創出  
J-クレジット

## 1 事業の概要

井村屋は、「おいしい！の笑顔をつくる」をミッションとし、菓子、食品、デイリーチルド、加温、冷菓、冷凍菓子、冷凍食品の7つの流通事業とフードサービス事業を展開している。中でも小豆の加工技術を活かした商品は長年のベストセラーで、最近では不易流行を活かした新ブランドの立ち上げにも力を入れている。

## 2 環境への取り組み

当社は、環境基本方針を掲げ、3Rへの取り組みを推進している。また、エコデザインを意識した製品開発、原材料の保全と最適利用、工程副製品の再利用、環境負荷を低減する工程の改善を進めている。地域の環境活動に参画したり、社員の環境への意識向上と保全への取り組みのための継続的教育訓練や広報活動も積極的に行っている。

## 3 制度活用のきっかけ

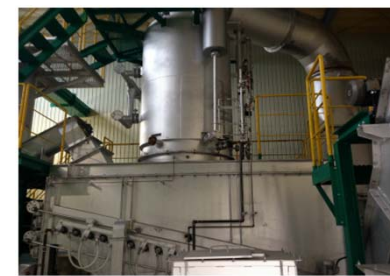
もともと環境への意識は高かったが、今後、三重県で実施が予定されている「伊勢志摩サミット」や「全国菓子大博覧会」に向けて、地元企業として具体的に地域に貢献していきたいという想いがあった。CO<sub>2</sub>削減により創出したクレジットを三重県で主催される地域や事業に関わるイベントなどでカーボン・オフセットすれば、地産池消も実現できると考え、制度への申請を決めた。

## 4 取組の感想

「エネルギー使用合理化事業者支援補助金」を申請していたため、その時に算出したCO<sub>2</sub>に関するデータをJ-クレジットの創出にそのまま使用することができ、スムーズに準備が進められた。2015年7月から準備を開始して申請まで約3カ月程度でできた。

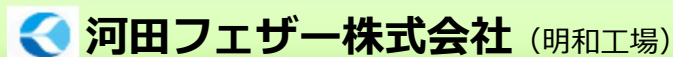
## 5 制度活用による効果

昨年から環境への啓発教育の一環としてJ-クレジット制度の活用勉強会を社内で開催し、ブランド価値向上なども含めた制度利用の方法について学んだ。その効果もあり、一つの設備の導入によるCO<sub>2</sub>の削減だけでなく、商品が提供される過程のサプライチェーン全体をみて、どんな環境貢献ができるのか、クレジットを還元できる余地はないかという、より広い視野で考えることができるようになった。

6 CO<sub>2</sub>削減プランCO<sub>2</sub>排出削減量見込 2,906tCO<sub>2</sub>/年

投資回収年数 3.0年

## 羽毛素材メーカーにおける高効率LPGボイラー導入



## 河田フェザー株式会社

所在地： 三重県多気郡明和町山大淀3255  
 代表者： 代表取締役 河田 敏勝  
 資本金： 4,320万円  
 従業員数： 49名  
 URL： <http://kwd.jp/>

創出  
J-クレジット

## 1 事業の概要

河田フェザーは1891年の創業以来、日本屈指の羽毛素材メーカーとして羽毛の精製加工に力を入れ、混ざり物の無い「本物の羽毛」を提供してきた。

当社は世界でも希少となった成熟した水鳥から採れた羽毛を使用しており、丈夫で壊れにくく温度調節機能の高い羽毛の精製加工に努めている。

## 2 環境への取り組み

当社は2013年、羽毛の安定供給を図るため、使用した羽毛製品を回収し、中から取り出した羽毛を自社工場で洗浄回復させる「リサイクル羽毛」の取り組みを始めた。

一般廃棄物である羽毛製品は焼却時にCO<sub>2</sub>を発生させてしまうが、リサイクルすることによってCO<sub>2</sub>の抑制につながると啓発している。

## 3 制度活用のきっかけ

「羽毛リサイクル」の開始に伴い、社会貢献活動の一環としてCO<sub>2</sub>抑制の啓蒙を検討していた。その時に、CO<sub>2</sub>削減を認証するJ-クレジット制度を知った。2014年にCO<sub>2</sub>削減のためにボイラーを重油からLPGに入れ替えた際、この取り組みを広く発信するために、J-クレジット制度のソフト支援事業を利用して認証申請を行った。

## 4 取組の感想

ソフト支援事業の良かった点は、専門性の高い書類を無料で作成してもらうことができ、事務的な申請の負担がなかったことである。また、重油の使用量や経費など遑って用意する書類やデータの準備が必要であったが、認証に必要な書類や資料の指示が的確で効率的だった。認証後の継続した支援が、どの程度受けられるかについても丁寧な指導があった。

## 5 制度活用による効果

今後は環境や地球温暖化対策に積極的に取り組む企業としてPRに力を入れていきたい。

6 CO<sub>2</sub>削減プラン

CO<sub>2</sub>排出削減見込量 46tCO<sub>2</sub>/年

投資回収年数 9.4年

## 中部産CO<sub>2</sub>クレジット

- 2014年にクレジットの地産地消を目指して「中部産CO<sub>2</sub>クレジット」を創設しました
- 中部経済産業局ホームページから「中部産CO<sub>2</sub>クレジット」の在庫状況を見ることができます
- 6月末現在の在庫量は410トン、累積取引量は11,000トンを超えています
- CSR活動のPR、イベントや会議の環境配慮、エコ商品の開発、省エネ法や自主目標の調整、社内の自主削減目標の調整に中部産CO<sub>2</sub>クレジットをご活用ください
- 1トン 1,000円程度で販売。小売りも対応しております

### 中部経済産業局 J-クレジット制度 HP とマーク

中部産CO<sub>2</sub>クレジットプラットフォーム

最終更新日：平成28年7月4日

中部産CO<sub>2</sub>クレジットプラットフォームとは？

中部経済産業局では、中部地域で創出されたCO<sub>2</sub>クレジット（国内クレジット、J-クレジット等）を取りまとめ、「中部産CO<sub>2</sub>クレジット」として流通を回っています。中部産CO<sub>2</sub>クレジットプラットフォームは、現在流通可能な中部産CO<sub>2</sub>クレジットの価格とともに、その活用に関する手続等を紹介するサイトです。

中部産CO<sub>2</sub>クレジット在庫量

○ 現在の在庫量（平成28年6月末日現在）：410t-CO<sub>2</sub>  
※在庫量等の内訳はこちらから確認できます。（PDF形式：51KB）

○ 中部産CO<sub>2</sub>クレジット取引総量計11,000t-CO<sub>2</sub>を突破！

クレジット取引量（単位:t-CO<sub>2</sub>）



出所) 中部経済産業 エネルギー対策課 J-クレジット制度HP <http://www.chubu.meti.go.jp/d34j-credit/platform.html>



## カーボン・オフセットとは

- ① 知って(CO2排出量を算定する)
- ② 減らして(CO2削減努力をする)
- ③ オフセット(CO2クレジットを購入して埋め合わせる)

### カーボン・オフセット 3ステップ



地産地消によるCO<sub>2</sub>削減活動への貢献

## ブラザー工業株式会社

## ブラザー工業株式会社

所在地： 愛知県名古屋市長区瑞穂区苗代町15番1号  
 代表者： 代表取締役社長 小池利和  
 資本金： 19,209百万円  
 従業員数： 連結 34,988名 / 単独 3,946名 (2015年3月31日現在)  
 URL： <http://www.brother.co.jp/>

購入  
J-クレジット

## 1 事業の概要

1908年にミシンの修理業から始まったブラザーグループは、一世紀以上にわたり、時代の変化を捉え独自の製品やサービスを提供してきました。今日では、プリンターや複合機などの情報通信機器事業を中心に、40以上の国と地域に拠点を置き、グローバルに事業活動を展開しています。

## 2 環境への取り組み

ブラザーグループは、持続的発展が可能な社会の構築に向け、「Brother Earth」のスローガンのもと、企業活動のあらゆる面で地球環境への配慮に前向きで継続的な取り組みを行っています。CO<sub>2</sub>削減活動では、2020年度中期目標として「国内8事業所で1990年度比30%削減、海外の生産拠点2006年度比20%削減」を掲げています。国内の拠点では、照明設備のLED化やエアコンの省エネモードへの更新、二重窓による結露防止、国内工場では屋上や壁面の遮熱塗装の取り組みを進めています。2015年度は全ての国内事業所で目標値をクリアしました。

## 3 J-クレジット活用手法

ブラザー工業では、2008年から毎年岐阜県にある「ブラザーの森 郡上」への植樹ツアーを開催しています。恩恵を受けている近隣県の水源や緑地への還元と地域との結びつきを濃厚なものにするため、「ブラザーの森 郡上」から創出されたJ-VERクレジットや中部産CO<sub>2</sub>クレジットの購入を決めました。

## 4 取組の感想

制度説明会や展示会に出向き情報収集することで、制度に関する理解が進みました。説明会では、概要説明の後に質疑応答や個別相談会があり、個別の状況に応じた説明を受けることができました。社内では、関連部門やJ-クレジットの購入にあたって関係する財務部門に事前に説明を行い、理解を求めることで、スムーズに手続きを進めることができました。

## 5 制度活用による効果

今後もカーボン・オフセットの取り組みを通して、弊社とつながりのある中部エリアにある地域や団体との結びつきを深め、地産地消によるCO<sub>2</sub>削減活動に貢献していきたいと考えています。



【ブラザーの森 郡上】

J-クレジット活用量 84tCO<sub>2</sub>/年 (合計オフセット量100tCO<sub>2</sub>)

人間都合で考えないミツバチココロをおいしく伝える

## 一般社団法人 ハニーファーム

## 一般社団法人 ハニーファーム

所在地： 名古屋市名東区植園町3-1-1-316  
 代表者： 代表理事 船橋 康貴  
 職員数： 3名（平成27年3月31日現在）  
 URL： <http://www.honeyfarm.jp>

購入  
J-クレジット

## 1 事業の概要

ハニーファームは、ミツバチたちのコミュニティーや社会性を通して自然の偉大さ、豊かさ、優しさを伝え、人間都合で考えないミツバチ目線の生き方を提案する環境教育・街づくりのプロフェッショナル集団です。名古屋市内動植物園、長久手市内の大型公園、全国のイベントで環境共育のワークショップ「ハチ育」を行っています。また、蜂蜜を生かした地域カフェ、飲食業、行政の行事学校など、地域の宝を見つけるまちおこしにも参画しています。

## 2 環境への取り組み

豊かな森林を育みミツバチの住みやすい環境作りから始まり、森林保護や地球温暖化防止活動、温室効果ガスを減らす取り組みにも積極的に参画しています。

また、ミツバチを通じたハチ育（授業・研修・教育）を推進し、小学生から大人まで、環境について学び、豊かな心を育てています。

## 3 J-クレジット活用手法

中部産CO<sub>2</sub>クレジットや地元のJ-VERなどを利用し、ハチミツをカーボン・オフセットすることで、動植物園や森の花々から採れたハチミツのCO<sub>2</sub>排出量分を地球に還元しています。オフセット対象の活動：容器の原材料調達、採取場から瓶詰めを行う事務所への輸送、ストーリーブックの原料調達

## 4 取組の感想

ミツバチを通じた環境教育を行うハニーファームにとって、自然からの頂きものであるハチミツを購入する際に自然にお返しができる「カーボン・オフセット」はぴったりの取り組みでした。地元のJ-クレジットやJ-VERを指定できたことで、地元への貢献もでき満足しています。

## 5 制度活用による効果

ハチミツを購入頂くお客様に、「カーボン・オフセットって何？」という疑問をきっかけに環境に興味を持って頂けるようになり、ハニーファームの思いが伝え易くなりました。パンフレットやホームページ等にオフセット商品であることを追記し、環境面のPRを強化できました。環境に配慮した自然派商品としてのブランド力も高まったと思います。

## 6 活用イメージ

以下の2品種のハチミツにストーリーブックが添付されます。



J-クレジット活用量 5tCO<sub>2</sub> (16,200個分)

# 会議・イベントのカーボン・オフセットの事例

購入  
J-クレジット

## 1. クレジット活用内容

ESDユネスコ世界会議あいち・なごや支援実行委員会は、「ESDユネスコ世界会議(2014)」の開催地元として会議開催をサポート。環境に優しい活動の一環として世界会議の参加者の県内移動や宿泊、地元主催歓迎レセプションやエクスカージョンを始め、支援実行委員会が行った様々な会議支援業務により排出されるCO<sub>2</sub>の一部を「中部産CO<sub>2</sub>クレジット」を活用してカーボン・オフセットを実施した。

## 2. 事業者のコメント

会期中、会場内に証明書を掲示し、開催地元が環境に配慮した会議支援を行っていることを会議参加者にPRした。



出典: ESDユネスコ世界会議あいち・なごや支援実行委員会HP  
<http://www.esd-aichi-nagoya.jp/>

## 3. PRポイント

中部エリアで生まれたクレジットを購入することでCO<sub>2</sub>の地産地消に貢献。



## 4. 事業者概要

事業者名: ESDユネスコ世界会議あいち・なごや支援実行委員会  
所在地: 愛知県名古屋市中区三の丸三丁目2番1号  
(愛知県東大手庁舎)  
事業概要: ESDユネスコ世界会議の開催支援

【クレジット購入者】ESDユネスコ世界会議あいち・なごや支援実行委員会



※中部産CO<sub>2</sub>クレジット(国内クレジット)は17t-CO<sub>2</sub>使用

提供

購入

資金

(創出企業へ)



【プラットフォーム】

中部産CO<sub>2</sub>クレジット

J-VER クレジット

# 企業と学生によるカーボン・オフセット商品の開発

## 有限会社大橋量器 × 名古屋大学

---

### ■ 大学での講義～商品化までのプロセス

- 名古屋大学 涌田准教授の授業「産業社会と企業」(学部生 30名弱)で実施
- 2015/10/21:大橋量器の大橋社長が自社及び自社商品の枡について講義
- 2015/11/4:MURCよりマーケティング講義(ターゲット、利用シーン、刻印等アイデア出し)
- 2015/12/2:大橋社長、MURCによる講義(学生投票によるベスト3アイデア抽出、講師総評)
- 2015/12/22:大橋社長とMURCにて商品化アイデアの再検討

社長のご意向で、女性をターゲットとした商品として  
真参照)

- 2016/1/27: 学生への結果報告および写真撮影
- 2016/2/17: 中部経済産業局にてプレスリリース

(注)費用負担について

大橋量器様は、講義で配布した枡の手作りキット代をカーボンオフセット  
名古屋大学様は費用負担無し



## 勉強会の実施例

- J-クレジットの創出や活用を目的とした企業内勉強会や自治体の主催する事業者向け勉強会への出張も行っています
- 「J-クレジット」の制度説明よりも、エコ、省エネ、ブランディングを目的とした勉強会のなかで、J-クレジットを紹介することもできます。お気軽にご相談ください



企業内勉強会の様子

タイトル	日時	場所	受講対象
製造業A社 J-クレジット制度を創出から活用まで、企業ブランディングとしてのJ-クレジット勉強会	年2回J実施 各1～2時間程度	A社 会議室	ISO推進委員、環境管理責任者、省エネ担当者、設備販売担当者、営業担当者等 各20名程度
金沢市 金沢エコ推進事業者ネットワーク 研修会	平成27年3月20日 2時間程度	石川県金沢市 地場産業センター	市内のエコ推進事業者 主に製造業、建設業などの中小企業、30名程
三重県 企業の省エネ活動が支援される新たな価値をつくる講座	平成26年7月14日  平成26年7月15日 各2時間程度	四日市市四日市商工会議所1階会議所ホール  三重県総合文化センター 大会議室、	県内の事業者 主に製造業、建設業などの中小企業  各約30名

# J-クレジット制度 全国HP

- 検索ツールにおいて、「Jクレジット」とご入力ください。制度全般や手続きのための様式類、過去の登録プロジェクト等の情報を入手することができます

The screenshot shows the homepage of the J-Credit system. At the top, there is a navigation bar with the J-Credit logo and links for 'お問い合わせ' (Contact), 'サイトマップ' (Site Map), and 'English'. Below this is a secondary menu with 'ホーム' (Home) and various service categories. The main content area features a large banner for the '第18回認証委員会' (18th Certification Committee) meeting on August 3, 2016. It includes application deadlines for reduction and absorption systems. A central dashboard displays key statistics: '認定量 105 万t-co2' (Certified amount: 105,000 t-CO2) and '登録プロジェクト 477 件' (Registered projects: 477 items) as of June 2016. A '最新情報' (Latest Information) section at the bottom lists recent updates from July 2016, such as the publication of credit transaction results and updates to application forms and system materials.

## ご清聴をありがとうございました

- J-クレジット制度や中部産CO2クレジット購入に関するお問合せ
  - 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 名古屋本部 電話番号:052-307-1102
  - 担当:松田、長尾、林田、有馬、大坪、小森
- 9/6(火)に今年度最終の説明会と相談会を実施予定でございます。お申し込みは弊社HPセミナー・イベントの頁から

### ■ 弊社概要

- 三菱UFJリサーチ&コンサルティングは、三菱UFJフィナンシャル・グループ(以下MUFGグループ)の総合シンクタンクとして、東京・名古屋・大阪の3大都市を拠点に、コンサルティング、グローバル経営サポート、政策研究、マクロ経済調査、人材育成支援など幅広い事業分野において多様なサービスを展開しています

会社概要	
名称	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
資本金	20億6千万円
代表取締役社長	藤井 秀延
理事長	中谷 巖
従業員数	約700名
主要株主	三菱東京UFJ銀行 三菱UFJキャピタル 三菱UFJファクター

